



就職試験、進学試験真っ只中！ 頑張れ3年生！！

【就職試験】 9月16日（火）より就職試験が始まりました。続々と内定が決まっています。

今年度の受験報告書より、「面接」についての感想やアドバイスを一部紹介します。

- ・ 受験先店舗のことを勉強してきたかを聞かれた。しっかり答えて褒められた。
- ・ 面接は堅苦しいものではなく、「会話のキャッチボール」がメインだったように感じた。
- ・ 質問内容は過去の受験報告書からの質問がほとんどだったので、練習の成果を発揮できた。
- ・ 面接練習を多くやったので、初めての質問にも対応することができた。
- ・ 関わったことの少ない先生、少し厳しい先生と面接練習するといひ。

面接は、過去の受験報告書とほぼ同じだったり、調査書や履歴書を深掘りしたりなど企業によって様々ですが、受け答えの内容以上に「どれだけ練習してきたか」を見ている企業があると聞きました。初対面の大人と正しい言葉遣いで普通に会話できるようになるために、面接練習を数多くこなしてください。

【進学試験】 総合型選抜の出願が9月から、大学入学共通テストの出願も10月から始まっています。

「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」の違いは何か、蛍雪時代9月増刊号「推薦&総合型選抜ガイド」（旺文社）より抜粋します。

学校推薦型選抜

「指定校制推薦」…大学が指定した特定の高校の生徒だけが出願できる。

「公募制推薦」…在籍高校を問わず誰でも出願できる。

いずれも学校長の推薦が必要。出願は原則として11月から。

書類審査+小論文+面接での選考が主流。高校での成績が重視されます。

総合型選抜

大学が定める「求める学生像」（アドミッション・ポリシー）にあった学生を、学力試験のみでない多様な方法で選抜する入試。大学や学部が求める生徒像と、受験生が大学で学びたいこと・やりたいこととの「マッチング」を重視している。

出願において学校長の推薦は不要。出願は原則として9月1日以降。

選考方法は書類審査や小論文、面接の他、体験授業やセミナー、プレゼンテーションなど特色ある選抜を実施するケースもある。

【進路激励会】（3年生、9月3日）

「四年制大学」「短期大学」「専門学校」「公務員」「県外就職」「県内就職」それぞれの代表生徒が志望進路実現に向けて、これまで努力してきたこと、将来の夢、時間を割いて指導して下さった先生方への感謝の言葉などが込められた決意表明をしました。「後悔しないために、今やるべき事に全力で取り組もう」という生徒の言葉に、全員で目標を達成しようという一体感が生まれた時間となりました。



これまでに実施した進路関係行事

【インターンシップ事前指導（就職ガイダンス、マナー講座）】（1年生、9月1日）

午前の就職ガイダンスでは、株式会社タスクールPLUSより3名の講師をお招きし、「さまざまな仕事や働き方の紹介」「自分を知り表現する方法」「コミュニケーションの基本」について学びました。

また、午後は、日本航空（株）青森支店 JALふるさとアンバサダーの佐藤愛菜氏を講師にマナー講座を実施しました。客室乗務員の1日の流れや役割、その中で心がけている挨拶、礼法指導、笑顔、声のトーンについて紹介されました。

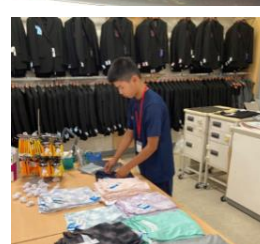
生徒からは、一日を通じて学んだ事を翌日からの職場体験実習で少しでも取り入れるという感想も多く見られました。



【インターンシップ】（1年生、9月2日～4日）

三沢市ほか近隣市町村合わせて40の事業所・自治体の協力を得て、職場体験実習を実施しました。

3日間という限られた時間の中で、事前指導で学んだ挨拶、礼儀、言葉遣いの重要性を改めて感じたり、学生と社会人との違い、仕事のやりがい、各企業が仕事をする上で大切にしていることなど、学校の中では得られない多くの事を経験し、学んだと思います。卒業後の進路決定に少しでも役立てて欲しいと思います。
※在日米空軍三沢基地でのインターンシップの様子は新聞にも掲載されました。（デーリー東北、東奥日報）



【高校生向け県企業PRイベント「キャリア支援イベント」】（1年生、10月15日）

県内企業のPR、および進学や進学後の就職活動の際に役立つ情報提供を通じて、早い段階から進路活動の意識付けにつなげることを目的として、八戸プラザホテルで開催されたイベントに参加しました。

50社の企業ブースのほか、大学・短大・各種学校の出展もあり、体験を交えた説明を通じて、就職希望者・進学希望者ともに自分の進路決定への意識がまたひとつ高まったのではないかと思います。

